

2022年度

# J-クレジット制度 沖縄地域活用事例集



内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー・燃料課

# J-クレジット制度のご案内

## 1. J-クレジット制度の仕組み

J-クレジット制度は、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による温室効果ガスの排出削減量や、適切な森林管理による温室効果ガスの吸収量をクレジットとして国が認証する制度です。

認証されたクレジットは、購入することができ、カーボン・オフセットや温対法・省エネ法での活用、CDP・SBT・RE100での報告に活用するなど、さまざまな用途に活用できます。また、クレジットの購入代金はクレジット創出者に還元され、さらなるCO<sub>2</sub>排出削減／吸収の取組や地域活性化等に活かすことができます。

※1 クレジットの活用についてはp.9を参照。



## 2. J-クレジット創出者のメリット

ランニングコストの低減	◎省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によりランニングコストの低減やクリーンエネルギーの導入を図ることができます。
クレジット売却益	◎設備投資の一部を、クレジットの売却益によってまかない、投資費用の回収やさらなる省エネ投資に活用できます。
PR効果	◎自主的な排出削減や吸収プロジェクトを行うことで、温暖化対策に積極的な企業、団体としてPRすることができます。
新たなネットワーク構築	◎クレジットの創出や売買を通して新しいネットワークの構築につながります。

### 3. J-クレジット制度の対象となる事業

#### ◎プロジェクトの登録要件

- 日本国内で実施されること。
- プロジェクト登録申請日の2年前の日以降に稼働した設備が対象であること。
- 認証対象期間に関する規程に合致していること。(期間開始日がプロジェクト登録申請日又はモニタリング開始可能日であること。また、期間終了日が開始日から8年を経過する日であること)
- 類似制度において、同一内容の排出削減プロジェクトが登録されていないこと。
- 排出削減のための設備投資回収年数が概ね3年以上であること(追加性を有すること)。
- 本制度で承認された方法論に基づいていること。
- 妥当性確認期間による妥当性確認を受けていること。

#### ◎方法論一覧

##### 省エネルギー

- ・ボイラーの導入
- ・ヒートポンプの導入
- ・空調設備の導入
- ・ポンプ・ファン類への間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御の導入
- ・照明設備の導入
- ・コーディネーションの導入
- ・変圧器の更新
- ・外部の効率のよい熱源設備を有する事業者からの熱供給への切り替え
- ・未利用廃熱の発電利用
- ・未利用廃熱の熱源利用
- ・電気自動車又はプラグインハイブリッド自動車の導入
- ・ITを活用したプロパンガスの配送効率化
- ・ITを活用した検針活動の削減
- ・自動販売機の導入
- ・冷凍・冷蔵設備の導入
- ・ロールアイロナーの更新
- ・LNG燃料船・電動式船舶の導入
- ・廃棄物由来燃料による化石燃料又は系統電力の代替
- ・ポンプ・ファン類の更新
- ・電動式建設機械・産業車両への更新
- ・生産設備(工作機械、プレス機械、射出成型機、ダイカストマシン、工業炉又は乾燥設備)の更新
- ・エコドライブを支援するデジタルタコグラフ等装置の導入及び利用
- ・テレビジョン受信機の更新
- ・自家用発電機の導入
- ・屋上緑化による空調に用いるエネルギー消費削減
- ・ハイブリッド式建設機械・産業車両への更新
- ・天然ガス自動車の導入
- ・印刷機の更新
- ・サーバー設備の更新
- ・節水型水まわり住宅設備の導入
- ・外部データセンターへのサーバー設備移設による空調設備の効率化
- ・エコドライブ支援機能を有するカーナビゲーションシステムの導入及び利用
- ・海上コンテナの陸上輸送の効率化
- ・下水汚泥脱水機の更新による汚泥処理プロセスに用いる化石燃料消費削減
- ・共同配送への変更
- ・冷媒処理設備の導入
- ・省エネルギー住宅の新築又は省エネルギー住宅への改修
- ・ポルトランドセメント配合量の少ないコンクリートの使用
- ・園芸用施設における炭酸ガス施用システムの導入
- ・エネルギー・マネジメントシステムの導入

##### 再生可能エネルギー

- ・バイオマス固形燃料(木質バイオマス)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・太陽光発電設備の導入
- ・再生可能エネルギー熱を利用する熱源設備の導入
- ・バイオ液体燃料(BDF・バイオエタノール・バイオオイル)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・バイオマス固形燃料(廃棄物由来バイオマス)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・水力発電設備の導入
- ・バイオガス(嫌気性発酵によるメタンガス)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・風力発電設備の導入
- ・再生可能エネルギー熱を利用する発電設備の導入

##### 工業プロセス

- ・マグネシウム溶解鋳造用カバーガスの変更
- ・麻醉用N<sub>2</sub>Oガス回収・分解システムの導入
- ・液晶TFTアレイ工程におけるSF<sub>6</sub>からCOF<sub>2</sub>への使用ガス代替
- ・温室効果ガス不使用絶縁開閉装置等の導入
- ・機器のメンテナンス等で使用されるダストプロワー缶製品の温室効果ガス削減

##### 農業

- ・牛・豚・プロイラーへのアミノ酸バランス改善飼料の給餌
- ・家畜排せつ物管理方法の変更
- ・茶園土壤への硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料の施肥
- ・バイオ炭の農地施用

##### 廃棄物

- ・微生物活性剤を利用した汚泥減容による、焼却処理に用いる化石燃料の削減
- ・食品廃棄物等の埋立から堆肥化への処分方法の変更

##### 森林

- ・森林経営活動
- ・植林活動
- ・再造林活動



## 4. J-クレジットが発行されるまでの流れとソフト支援

クレジットの認証・発行までには、プロジェクトの登録とモニタリング(削減量や吸収量の算定をするための計測等)の2つのステップがあります。

J-クレジット制度への参加にあたっては、クレジット創出者を技術的にサポートするソフト支援を活用することができます。ソフト支援事業は国から委託された事業者が実施していますので、事業の詳細・活用については、内閣府沖縄総合事務局経済産業部エネルギー・燃料課までお問い合わせください。<sup>\*</sup>

※裏表紙 問合せ先参照

### ステップ1 プロジェクトの登録

#### 1-1 プロジェクト計画書の作成

「どんなCO<sub>2</sub>排出削減／吸収事業(省エネ設備の導入、森林管理等)を実施するか」を記載した計画書を作成します。

※計画書の作成についてソフト支援を受けることができます。

※対応する方法論がない場合は、新しく方法論を策定する必要があります。

#### 1-2 審査機関によるプロジェクト計画書の審査

「プロジェクト計画がJ-クレジット制度の規定に沿っているか」を審査機関が事前確認します。

※審査費用について支援を受けることができます。

#### 1-3 プロジェクト計画登録申請

有識者委員会に諮り、国が正式にプロジェクトを登録します。

### ステップ2 モニタリングの実施

#### 2-1 モニタリング報告書の作成

国に登録されたプロジェクト計画に基づき、排出削減量／吸収量を算定するための計測や実績を記録した「モニタリング報告書」を作成します。

※電話・メールによる助言を受けることができます。

#### 2-2 審査機関によるモニタリング報告書の検証

「モニタリング方法等がJ-クレジット制度の規定に沿って行われているか」を審査機関に事前確認してもらいます。

※審査費用について支援を受けることができます。

#### 2-3 クレジット認証申請

J-クレジット制度事務局(制度管理者／委員会)にクレジットの認証を申請します。



### クレジットの認証・発行

## 5. ソフト支援・審査費用支援の対象事業者

- 中小企業基本法の対象事業者(みなしだ企業であっても、法人単位で満たしていれば支援対象)
- 自治体
- 公益法人(一般/公益社団法人、一般/公益財団法人、医療法人、福祉法人、学校法人等)

# SDGsとJ-クレジット制度

## 1.SDGs(持続可能な開発目標)とのかかわり

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### ◎SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された先進国を含む国際社会全体の17の開発目標。全ての関係者(先進国、途上国、民間企業、NGO、有識者等)の役割を重視し、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものです。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

#### ◎J-クレジット制度とSDGs

J-クレジット制度は17のゴールのうち、「7. エネルギー」や「13. 気候変動」等の目標と深く関連しています。

## 2.カーボンニュートラル社会への貢献

#### ◎気候変動について

人為起源の気候変動は、世界中の全ての地域で、多くの気象及び気候の極端現象に既に影響を及ぼしているといわれています(IPCC第6次評価報告書)。極端現象とは、熱波、大雨、干ばつ、熱帯低気圧等が当たります。気候変動によるこれらの影響は現実のものとなっているのです。

気候変動問題は、国際社会が一体となって直ちに取り組むべき重要な課題です。2015年、フランスのパリで開催された国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、パリ協定が採択されました。この協定では世界共通の長期目標として「世界全体の平均気温の上昇を工業化以前よりも2°C高い水準を十分に下回るものに抑えるとともに、1.5°C高い水準までに制限するための努力を継続すること」が掲げられています。加えて、この長期目標達成のため、今世紀後半に世界全体でのカーボンニュートラルの達成を目指すことが定められています。

#### ◎カーボンニュートラル宣言

2020年10月、菅内閣総理大臣(当時)は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。J-クレジット制度は2050年カーボンニュートラルに向けて必要な制度として、2030年度以降も継続することが決定しています。

# J-クレジット創出モデルケース

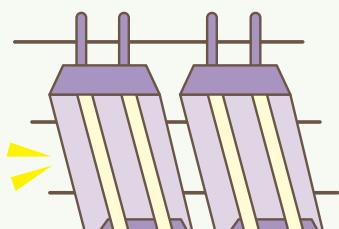
## ケース1 照明設備の導入

省電力の照明設備を導入することにより、電力の使用量を削減するプロジェクトです。

【適用条件】 ○更新前の照明設備又は標準的な照明設備よりも、省電力の照明設備を導入すること

### 更新前

条 件：100Wの蛍光灯 700台  
稼 働 時 間：3,950時間／年  
消 費 電 力：276,500kWh／年  
排 出 係 数：0.000453t-CO<sub>2</sub>／kWh  
年 間 排 出 量：125t-CO<sub>2</sub>

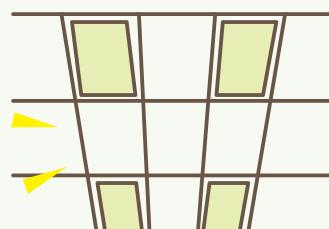


更新前の照明設備

### プロジェクト実施後

条 件：20WのLED 700台  
稼 働 時 間：3,950時間／年  
消 費 電 力：94,500kWh／年  
排 出 係 数：0.000453t-CO<sub>2</sub>／kWh  
年 間 排 出 量：25t-CO<sub>2</sub>

ベースラインより  
電力使用量が  
削減される。



省電力の照明設備

## 年間100t-CO<sub>2</sub> のクレジット創出

## ケース2 ボイラーの導入

効率のよいボイラーを導入することにより、化石燃料の使用量を削減するプロジェクトです。

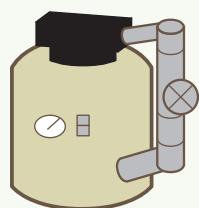
【適用条件】 ○標準的なボイラーよりも、効率が良く、原則として都市ガス(又はLNG)又は電気で駆動するボイラーを導入すること  
○ボイラーで生産した蒸気又は温水等の熱の全部又は一部を自家消費すること

### 更新前

燃 料：A重油  
エネルギー消費効率：85.5%  
生成熱量：4,342GJ／年  
排出係数：0.0708t-CO<sub>2</sub>／GJ  
年間排出量：360t-CO<sub>2</sub>



重油  
都市ガス等



更新前のボイラー又は  
標準的なボイラー

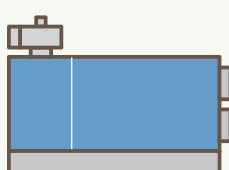
### プロジェクト実施後

燃 料：都市ガス  
エネルギー消費効率：86.4%  
生 成 热 量：4,342GJ／年  
熱料使用量：112.2千Nm<sup>3</sup>／年  
単位発熱量：44.8GJ／千Nm<sup>3</sup>  
排 出 係 数：0.0521t-CO<sub>2</sub>／GJ  
年 間 排 出 量：261t-CO<sub>2</sub>

ベースラインより  
エネルギー使用量が  
削減される。



重油  
都市ガス等



高効率ボイラー

## 年間99t-CO<sub>2</sub> のクレジット創出

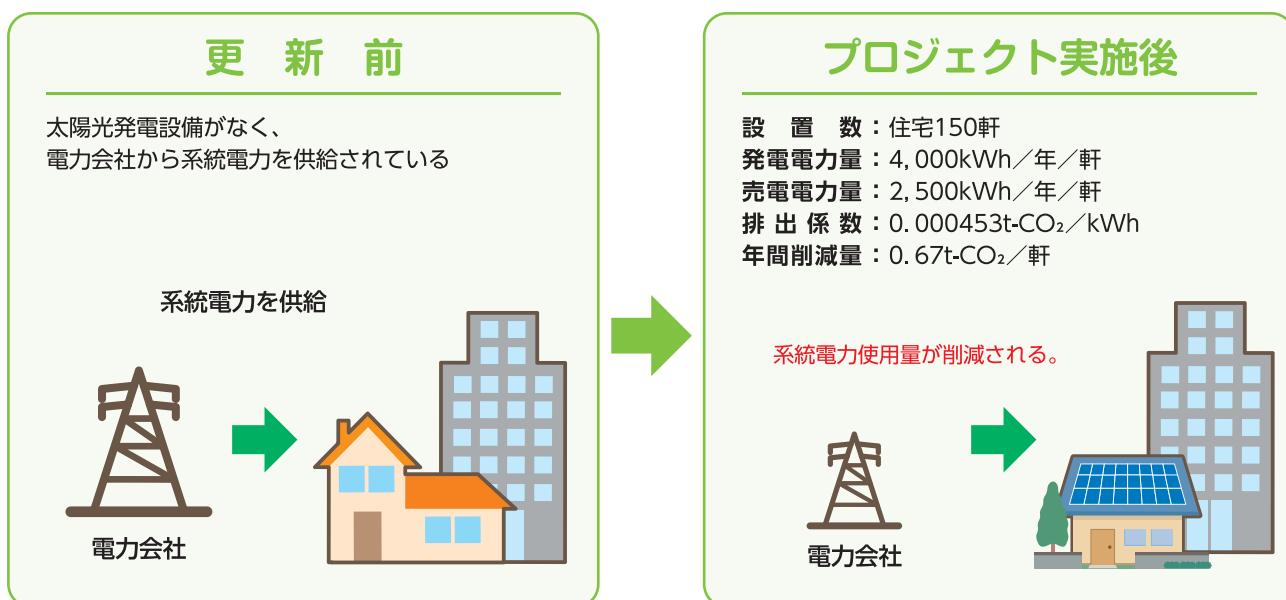
### ケース3 太陽光発電設備の導入

太陽光発電設備を導入することにより、系統電力等の使用量を削減するプロジェクトです。

【適用条件】 ○太陽光発電設備を設置すること

○原則として、発電した電力の全部又は一部を自家消費すること

○発電した電力が系統電力等を代替するものであること



年間100t-CO<sub>2</sub> のクレジット創出

## 沖縄県内のJ-クレジット創出

### J-クレジット登録事業者一覧

プロジェクト実施者	プロジェクト概要	CO <sub>2</sub> 排出削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)
沖縄県企業局	浄水場におけるポンプ・ファン類の更新	815
株式会社青い海	製塩工場におけるボイラーの更新(重油→LPG)	322
有限会社登川商事(ドラゴンボウル)	ボウリング場における照明設備の更新(LED化)	112
国立大学法人琉球大学	大学における太陽光発電設備の導入、変圧器の更新	83
株式会社南都(おきなわワールド)	観光施設における照明設備の更新(LED化)、太陽光発電設備の導入	101
有限会社東南植物楽園	観光施設における照明設備の更新(LED化)	53
具志川ゴルフクラブ株式会社	ゴルフ場における照明設備の更新(LED化)	106
タピック沖縄株式会社(ペアーレ沖縄・タピック)	運動施設における照明設備の更新(LED化)	26
合資会社北谷スポーツセンター(スポーツワールドサザンヒル)	運動施設における照明設備の更新(LED化)	99
タピック沖縄株式会社(ユインチホテル南城)	宿泊施設におけるコーチェンレーションの導入(A重油→天然ガス)	160
沖縄綿久寝具株式会社	クリーニング工場におけるボイラーの更新(A重油→LNG)	1,790
株式会社琉球ホテルリゾート那覇 (ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城)	ホテルにおけるボイラーの更新(A重油→都市ガス)	256
株式会社みつわ産業	小売店舗における照明設備の更新(LED化)	93
社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	病院における照明設備の更新(LED化)	137
トーラス株式会社	住宅における太陽光発電設備の導入	148
株式会社饒平名エコストーション	住宅における太陽光発電設備の導入	44

事例

## 観光施設における照明設備の更新、太陽光発電設備の導入

# おきなわワールド(株式会社南都)

### 1. 企業の概要

1972年4月に観光鍾乳洞「玉泉洞(現・おきなわワールド)」を開業。以降「大石林山」「石垣島鍾乳洞」「石垣島サンセットビーチ」「ガンガラーの谷」「南都酒造所」をオープン、現在6つの観光施設を運営しています。

社は「旅は知性の源であり、郷土を現し郷土に奉ずる」。旅をすることは未知の世界を探求すること。異文化を見て、触れて、学び、その経験が人の心を豊かにします。沖縄の魅力的な自然(素材)を磨き、観光という舞台で世に送り出す、そして多くの人に訪れていただき沖縄の発展に貢献する、これが当社の基本的な理念です。



### 2. 排出削減事業の概要

#### 園内各施設を高効率照明(LED)に更新、 駐車場に太陽光発電設備を導入

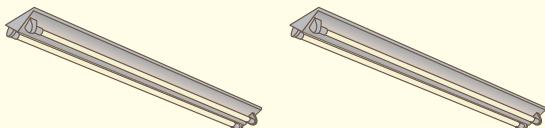
従来の照明設備(蛍光灯)に比べ高効率なLED照明へ更新しました。

さらに太陽光発電設備で系統電力を代替し、CO<sub>2</sub>排出削減量を削減しました。



導入前

年間CO<sub>2</sub>排出量  
92.2t-CO<sub>2</sub>

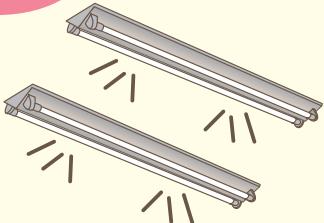


LED照明に更新

太陽光発電設備を導入

導入後

年間CO<sub>2</sub>排出量  
19.9t-CO<sub>2</sub>



レストラン、店舗に設置したLED



駐車場に設置した太陽光発電設備

## 事業者プロフィール



事業者名 株式会社 南都  
担当者 知念 智広  
連絡先 098-949-7430

所在地 沖縄県那覇市牧志1丁目3番24号  
URL <https://www.gyokusendo.co.jp/>  
E-mail info@gyokusendo.co.jp

## 3. 事業実施の経緯

### エネルギーコスト削減と自然エネルギーを

当施設は環境対策として4年前に光熱水費削減保証サービスを利用し、空調機の高効率型機器への変更と琉球ガラス工房の重油焚き窯の電気式窯への変更を行い、二酸化炭素削減に取り組んできました。平成23年度には国内クレジット制度を活用し、一部クレジット利益を震災地へ寄付する制度にも参加しました。更に沖縄電気安全・使用合理化委員会委員長による平成23年度エネルギー管理優良事業場として表彰を受けています。また、平成26年に敷地内湧水を利用できるよう水処理システムを導入しました。

J-クレジット制度については、沖縄県の『観光施設等の総合的エコ化促進事業補助金』の交付を受けて、LED照明への更新、太陽光発電設備の導入を実施したことをきっかけに申し込みました。プロジェクト登録から6年が経過し、支援条件を満たしたタイミングでモニタリング報告を実施し、クレジットの創出手続きを行いました。



## 4. 取り組みの感想・効果

### 自然の恩恵を受ける観光施設だからこそ

J-クレジットの創出を担当された管理部の知念部長は、取り組みの感想を次のように話しています。

「おきなわワールド」がリニューアルオープンして26年になり、補助金を活用してLED照明に更新、太陽光発電の導入を図ることができました。

自然から恩恵を受ける観光施設として環境対策は責務であると考えています。我が社では一人ひとりの意識が変われば必ず大きな成果に繋がるという思いのもと、会社全体でエコ活動に取り組んでおり、今後も更なる環境に配慮した設備やシステムの導入を図っていきたいと思っております。

クレジット創出量

463  
t-CO<sub>2</sub>

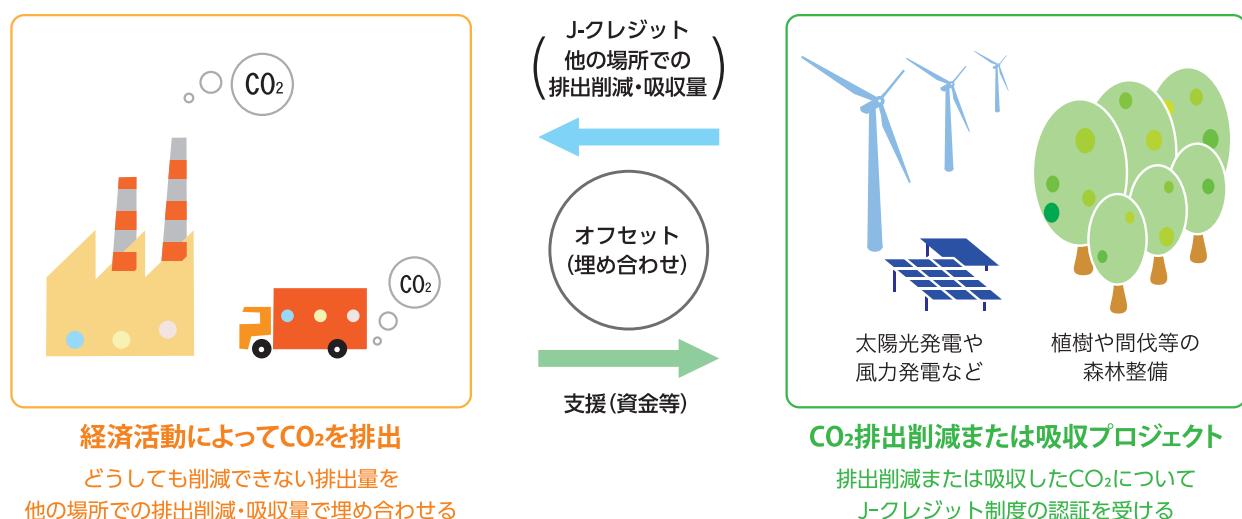
2015年3月～2021年7月

# J-クレジットの活用 ～カーボン・オフセット～

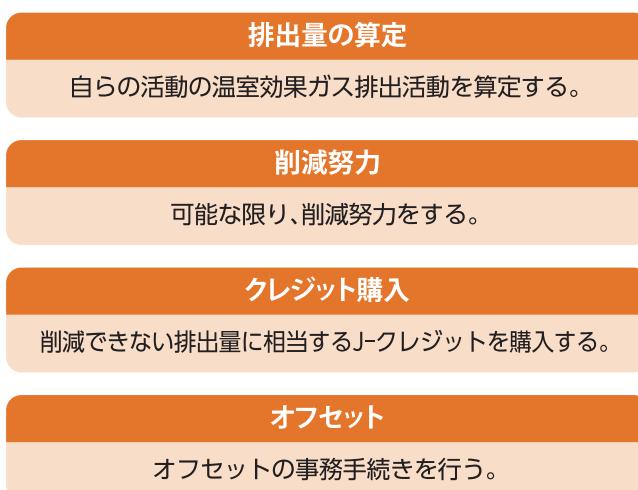
## 1. カーボン・オフセットとは

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において排出する温室効果ガスについて、できる限り排出量の削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った削減活動に投資することで、排出される温室効果ガスを"埋め合わせる(オフセット)"という考え方です。

中小企業等により創出されたクレジットは、各地で開催されるイベントや企業活動などのカーボン・オフセットに活用されています。



## 2. オフセットの流れ



## 3. オフセットの種類



## 4. クレジットの活用例(その他)

### ● 温対法・省エネ法での活用

温対法:調整後温室効果ガス排出量や、調整後排出係数の報告に利用可能です。

省エネ法:省エネルギープロジェクトでのクレジットを省エネ法の共同省エネルギー事業の報告に利用可能です。

### ● CDP・SBT・RE100での報告に活用

CDP・SBT:再エネ電力や再エネ熱由来のJ-クレジットを、再エネ調達量として報告することができます。

RE100:再エネ電力由来のJ-クレジットを、再エネ調達量として報告することができます。

## 5. 沖縄県内のカーボン・オフセット事例

### イベントのカーボン・オフセット

沖縄県内では、スポーツ、学園祭や地域のお祭り、イルミネーション、セミナーなど、さまざまなイベントのカーボン・オフセットが行われています。

カーボン・オフセットを行うことで、環境に配慮したイベントとしてアピールできます。また、イベント参加者の環境意識を高めることにも繋がります。さらに、沖縄県内のJ-クレジットを活用することで、県内企業が行うCO<sub>2</sub>排出削減の取り組みを応援できます。

#### 参加者の移動(自家用車)

100台が5km以内の地域から往復



0.2  
t-CO<sub>2</sub>

燃費:10km/L(ガソリン)  
排出係数:2.32kg-CO<sub>2</sub>/L

#### 参加者の移動(飛行機)

100人が那覇ー宮古を往復

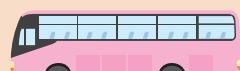


8.4  
t-CO<sub>2</sub>

那覇ー宮古の飛行機利用  
片道42.0kg-CO<sub>2</sub>/人

#### 参加者の移動(シャトルバス)

10台が片道5kmを30往復



1.5  
t-CO<sub>2</sub>

燃費:5km/L(軽油)  
排出係数:2.58kg-CO<sub>2</sub>/L

#### 会場の発電機使用

500 Lのガソリンを使用



1.2  
t-CO<sub>2</sub>

排出係数:2.32kg-CO<sub>2</sub>/L(ガソリン)

#### 廃棄物の処理

1,000kgのごみを処理



0.3  
t-CO<sub>2</sub>

排出係数:0.29kg-CO<sub>2</sub>/kg  
(一般廃棄物)

#### イベント期間中の参加者の生活

1,000人が2日間滞在



12  
t-CO<sub>2</sub>

1日あたりの排出量6kg-CO<sub>2</sub>/人

### 工事のカーボン・オフセット

沖縄県内では、公共工事で使用される建設機械や工事用車両から排出されるCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットが積極的に行われています。

工事に伴って排出されるCO<sub>2</sub>をカーボン・オフセットすることで、環境に配慮した工事を実施することができ、環境対策に積極的に取り組む企業としてPRすることができます。

#### バックホウ

20日間稼動



2.1  
t-CO<sub>2</sub>

1日40Lの軽油使用  
排出係数:2.58kg-CO<sub>2</sub>/L

#### ダンプトラック

20日間稼動



2.6  
t-CO<sub>2</sub>

1日50Lの軽油使用  
排出係数:2.58kg-CO<sub>2</sub>/L

#### 現場事務所

1年間使用



7.3  
t-CO<sub>2</sub>

10,000kWhの電力使用  
排出係数:0.729kg-CO<sub>2</sub>/kWh

#### 工事・調査用車両

年間10,000kmを走行



2.3  
t-CO<sub>2</sub>

燃費:10km/L(ガソリン)  
排出係数:2.32kg-CO<sub>2</sub>/L

#### 工事・調査用船舶

20日間稼動



5.4  
t-CO<sub>2</sub>

1日100Lの重油使用  
排出係数:2.71kg-CO<sub>2</sub>/L

#### 作業員の通勤(車両)

10人×100日×往復10km



1.5  
t-CO<sub>2</sub>

燃費:15km/L(ガソリン)  
排出係数:2.32kg-CO<sub>2</sub>/L

## 2022年度 カーボン・オフセット事例紹介

### CPDSセミナー (沖縄建設マネジメントフォーラム)

NPO法人グリーンアース事務局



2021年度CPDSセミナー(沖縄建設マネジメントフォーラム)参加者の移動に伴って排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

#### 【利用したクレジット】

J-クレジット(沖縄県企業局、具志川ゴルフクラブ株式会社)



2 t-CO<sub>2</sub>

### スターダストファンタジア 2021~2022

株式会社カヌチャベイリゾート



幻想的な星たちが彩る沖縄を代表するウィンターアイリミネーションイベントです。

イルミネーションの電力使用に伴い排出されたCO<sub>2</sub>についてカーボン・オフセットを実施しました。

#### 【利用したクレジット】

J-クレジット(株式会社みつわ産業)、沖縄県CO<sub>2</sub>吸収量認証制度(ヤエヤマヤシによるCO<sub>2</sub>吸収量)、J-VER(住田町)



4 t-CO<sub>2</sub>

### ナイスハートバザールイン宮古・石垣

株式会社琉球銀行



「第6回ナイスハートバザールイン宮古」、「第4回ナイスハートバザールイン石垣」における関係者車両によるガソリン使用に伴って排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

#### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



2 t-CO<sub>2</sub>

### 沖縄大交易会2021 公式ガイドブック

沖縄大交易会実行委員会



「沖縄大交易会2021公式ガイドブック」の原材料調達・印刷・流通・廃棄に伴って排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

沖縄大交易会公式ガイドブックは、2016年～2021年度まで継続的にカーボン・オフセットに取り組んでいます。

#### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



1 t-CO<sub>2</sub>

## 沖縄銀行ディスクロージャー誌2021 (資料編および情報編)

株式会社 沖縄銀行



「沖縄銀行ディスクロージャー誌2021」(資料編および情報編)の原材料調達・印刷・流通に伴って排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



3 t-CO<sub>2</sub>

## 2022年版 沖銀カレンダー (1枚モノ キキララ)

株式会社 沖縄銀行



© 22 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L633768

「2022年版 沖銀カレンダー(1枚モノ キキララ)」の原材料調達・印刷・流通に伴って排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



2 t-CO<sub>2</sub>

## 2022年版 沖銀カレンダー (B2サイズ)

株式会社 沖縄銀行



「2022年版 沖銀カレンダー(B2サイズ)」の原材料調達・印刷・流通に伴って排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



2 t-CO<sub>2</sub>

## 2022年版 沖銀カレンダー (6枚モノ)

株式会社 沖縄銀行



「2022年版 沖銀カレンダー(6枚モノ)」の原材料調達・印刷・流通に伴って排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



2 t-CO<sub>2</sub>

## MICEノベルティストーンファイル

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー<sup>（沖縄県委託事業）</sup>



「MICEノベルティストーンファイル」の作成1個あたり、24.33kgCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



73 t-CO<sub>2</sub>

## 森林・林務行政教材 「おきなわの森林のコト林業のコト」

沖縄県 農林水産部 森林管理課



森林・林務行政教材「おきなわの森林のコト林業のコト」の原材料調達・印刷・流通に伴って排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



6 t-CO<sub>2</sub>

## MICEノベルティバッグ

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー<sup>（沖縄県委託事業）</sup>



「MICEノベルティバッグ」の原材料調達、輸送、流通に伴って排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



1 t-CO<sub>2</sub>

## 創立40周年記念バッグ

一般財団法人沖縄県環境科学センター



「創立40周年記念バッグ」の作成1個あたり、26kgCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



13 t-CO<sub>2</sub>

令和3年度  
小禄道路橋梁下部工(P15)工事

株式会社高橋土建



沖縄総合事務局南部国道事務所発注の「令和3年度小禄道路橋梁下部工(P15)工事」において使用する場所打ち杭機、仮設土留め杭打機、掘削機、コンクリート打設機、締固め機、運搬機の稼働及び現場休憩所の電気の使用に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

**【利用したクレジット】**

J-クレジット(沖縄県企業局、株式会社青い海、具志川ゴルフクラブ株式会社)



37 t-CO<sub>2</sub>

東風平大橋補修工事  
(R2-1)

南洋土建株式会社



沖縄県発注の「東風平大橋補修工事(R2-1)」において、自動車(職員、作業員の通勤車両)及び電気(現場事務所)の使用に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

**【利用したクレジット】**

J-クレジット(沖縄県企業局)



18 t-CO<sub>2</sub>

魚口地区畑地かんがい施設工事  
(R2-1)

有限会社南雄建設



沖縄県発注の「魚口地区畑地かんがい施設工事(R2-1)」において使用したバックホウ、ダンプトラック、作業員の通勤車の稼働及び、現場事務所の電気の使用に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

**【利用したクレジット】**

J-クレジット(沖縄県企業局、株式会社みつわ産業、具志川ゴルフクラブ株式会社)



29 t-CO<sub>2</sub>

東風平大橋補修工事  
(R1-2)

株式会社屋部土建



「東風平大橋補修工事(R1-2)」において使用するコンプレッサー、バックホウ、トラックの稼働に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

**【利用したクレジット】**

J-クレジット(沖縄県企業局、株式会社青い海)



18 t-CO<sub>2</sub>

## ハンセン(R3)隊舎(4011) 構内外線整備工事

株式会社那霸電工



沖縄防衛局発注の「ハンセン(R3)隊舎(4011)構内外線整備工事」において、現場作業車及び作業員の通勤車の走行、並びに現場重機の稼働に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

J-クレジット（沖縄県企業局）



14 t-CO<sub>2</sub>

## 普天間(3)隊舎(431) 改修電気その他工事

株式会社那霸電工



沖縄防衛局発注の「普天間(3)隊舎(431)改修電気その他工事」において、現場作業車及び作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

J-クレジット（沖縄県企業局）



4 t-CO<sub>2</sub>

## 伊是名水道施設電気計装設備工事

株式会社那霸電工



沖縄県企業局発注の「伊是名水道施設電気計装設備工事」において使用する重機、作業車の稼働及び作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

J-クレジット（沖縄県企業局）



4 t-CO<sub>2</sub>

## 令和3年度 郷土村受変電設備他更新工事

株式会社那霸電工



沖縄総合事務局発注の「令和3年度 郷土村受変電設備他更新工事」において使用する重機、作業車の稼働及び作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

J-クレジット（沖縄県企業局）



2 t-CO<sub>2</sub>

令和2年度  
名護東道路トンネル照明設備設置工事  
マエダ電気工事株式会社



沖縄総合事務局北部国道事務所発注の「令和2年度名護東道路トンネル照明設備設置工事」において、従業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

**[利用したクレジット]**

J-クレジット(沖縄県企業局)



14 t-CO<sub>2</sub>

県道20号線(泡瀬工区)  
橋梁整備工事(上部工A1-P1・南)

金秀建設株式会社



沖縄県土木建築部中部土木事務所発注の「県道20号線(泡瀬工区)橋梁整備工事(上部工A1-P1・南)」において、現場職員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

**[利用したクレジット]**

J-クレジット(沖縄県企業局、株式会社みつわ産業、具志川ゴルフクラブ株式会社)



9 t-CO<sub>2</sub>

東風平大橋補修工事  
(R2-2)

金秀建設株式会社



沖縄県土木建築部南部土木事務所発注の「東風平大橋補修工事(R2-2)」において、現場職員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

**[利用したクレジット]**

J-クレジット(沖縄県企業局、株式会社みつわ産業、具志川ゴルフクラブ株式会社)



9 t-CO<sub>2</sub>

開邦高校校舎改築工事  
(第1期杭工事)

金秀建設株式会社



沖縄県発注の「開邦高校校舎改築工事(第1期杭工事)」において、現場職員の通勤車両の走行及び小型発電機の稼働に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

**[利用したクレジット]**

J-クレジット(沖縄県企業局、株式会社みつわ産業、具志川ゴルフクラブ株式会社)



7 t-CO<sub>2</sub>

## 照屋土建リサイクルセンター

株式会社照屋土建



株式会社照屋土建が運営するリサイクルセンターにおいて使用するバックホウの稼働、ダンプトラック及び作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

J-クレジット(沖縄県企業局)



10 t-CO<sub>2</sub>

## 沖縄基地隊(2補) 舟艇庫新設土木工事

株式会社丸石建設



沖縄防衛局発注の「沖縄基地隊(2補)舟艇庫新設土木工事」において、作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

J-クレジット(具志川ゴルフクラブ株式会社)



2 t-CO<sub>2</sub>

## 令和3年度 平良港(漲水地区) 港湾施設用地築造外1件工事

株式会社屋部土建



「令和3年度平良港(漲水地区)港湾施設用地築造外1件工事」において、作業員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

J-クレジット(沖縄県企業局)



10 t-CO<sub>2</sub>

## 令和3年度 志喜屋緊急予防治山工事

株式会社第一建設



株式会社第一建設が受注した「令和3年度志喜屋緊急予防治山工事」において使用するバックホウとクレーンの稼働、作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

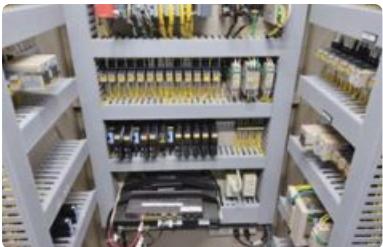
J-クレジット(沖縄県企業局)



2 t-CO<sub>2</sub>

## 豊見城市計装設備工事(R3第1工区)

株式会社那霸電工・有限会社勝電機  
特定建設工事共同企業体



豊見城市発注の「豊見城市計装設備工事(R3第1工区)」において、現場作業車及び作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

J-クレジット(沖縄県企業局)



1 t-CO<sub>2</sub>

## 自家用車(通勤車)

### 沖縄県SDGs専門部会委員のI氏



自家用車(通勤車)の使用に伴い排出されるCO<sub>2</sub>(2021年～2025年の5年間)のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

J-クレジット(株式会社青い海、株式会社みつわ産業、具志川ゴルフクラブ株式会社、沖縄県企業局)



6 t-CO<sub>2</sub>

## 自家用車・自家用バイク

### 沖縄県地球温暖化防止活動推進員のT氏



自家用車及び自家用バイクの使用に伴い排出されたCO<sub>2</sub>(2021年4月1日～2022年3月31日)のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

おきなわ美ら島カーボンクレジット



2 t-CO<sub>2</sub>

## 環境調査

### 一般財団法人沖縄県環境科学センター



現地調査に際し、使用した車両の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 【利用したクレジット】

J-VER(米川生産森林組合)



4 t-CO<sub>2</sub>



「変える」をコンセプトに、削減したCO<sub>2</sub>を環境価値に変えること、  
世界的な環境問題である地球温暖化を沖縄から変えていこうと  
いう想いを込めてデザインされたロゴマークです。

J-クレジット制度について詳しく  
知りたい方はホームページをご覧下さい。  
<http://japancredit.go.jp/>



沖縄県内の制度参加、カーボン・オフセットの  
支援についてはこちらまで。  
<https://www.okikanka.or.jp/information/j-cre/>



### お問い合わせ先

#### 内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー・燃料課

〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎2号館  
TEL 098-866-1759

#### 一般財団法人 沖縄県環境科学センター

〒901-2111 浦添市字経塚720番地  
TEL 098-875-5208

本紙の原材料調達、生産時の電力使用、製品の流通、廃棄に伴って排出されたCO<sub>2</sub>は、沖縄県内の事業者が実施した排出削減事業によって創出されたJ-クレジットでカーボン・オフセットします。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した  
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。